

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】 / (分野)		授業形式						
M212Q201		成人看護学概論 (Introduction to Adult Nursing)					成人看護学								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態					
必修	1	2	医学部看護学 科	前期	木1	日本語				オムニバス					
担当 教員	氏名 末弘 理恵・脇 幸子・大野夏稀・佐藤昂太郎														
	E-mail suehiror 内線 5053														
授業 の 概 要	ライフサイクルにおける成人期の人を身体的・精神的・社会的・スピリチュアル的な側面から全人的な存在として捉え、様々な健康レベルに応じて成人のセルフケアを促進し、健康生活をはぐくむ看護を実践するために基盤となる知識や考え方を学ぶ。														
具体的な到達目標															
							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1	ライフサイクル上の過去～現在～将来を見据えた成人期にある人の特徴を 人間の発達と生活という側面より理解できる。							○							
目標2	成人期にある人の特徴を踏まえ、様々な健康レベルにおいて生じやすい健康課題とそれに影響を及ぼす要因について理解できる。							○							
目標3	地域包括ケアシステムの中での成人期にある人の健康生活を支える システム・サービスについて理解できる。							○							
目標4	成人期にある人の様々な健康課題を解決するために基盤となる理論を活用 した看護について理解できる。								○						
目標5	成人期にある人の健康生活をはぐくむ看護について自分の考えを述べるこ とができる。														○
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度 (計10)								7		2				1	
授業の内容															
1	生活と健康：ライフサイクルと様々な健康レベルからみた成人期の特徴														
2	成人期にある人の健康生活を支える保健・医療・福祉サービスとシステム														
3	倫理的課題・意思決定支援														
4	成人期にある人の様々な健康課題を解決するために基盤となる理論 (セルフケア、成人教育、エンパワーメント)														
5	様々な健康レベルにおける成人期にある人の健康課題と看護 ①慢性的な疾患をもちながら生活する成人期の人への看護														
6	様々な健康レベルにおける成人期にある人の健康課題と看護 ②急激な健康破綻の状況にある成人期の人への看護														
7	様々な健康レベルにおける成人期にある人の健康課題と看護 ③終末期にある成人期の人への看護														
8	成人期にある人の健康生活をはぐくむ看護 [グループディスカッション]														
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
ラ イ ク ニ ン グ	A:知識の定着・確認	○	A：課題レポート				工 夫 の 他 の	・一事例を通して、慢性期・急性期・終末期の対象の特徴および看護を検討する。 ・講義内にてグループディスカッションを行う。							
	B:意見の表現・交換	○	B：発問、グループディスカッション												
	C:応用志向	○	C：事例に基づく看護の検討												
	D:知識の活用・創造														
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	教科書、e-learning等による予習。課題レポートでの体験を講義に活かす。(2-4h)													
	事後学修	配付資料・教科書・e-learningを活用し、復習する。課題レポートにより学習を意味付ける。(8h)													
	想定時間合計														
教科書	・小松浩子他:成人看護1成人看護学総論 第16版,医学書院,2022 978-4-260-04701-2 ・黒田裕子監修：看護診断のためのよくわかる中範囲理論 第3版,Gakken, 2021 978-4-7809-1399-6 ・厚生統計協会編:国民衛生の動向2023/2024年第70巻第9号,厚生統計協会,2023 ASIN:B0CB8BY48V ・野崎真由美他(2022) 看護学テキストNICE成人看護学成人看護技術改訂第3版,南江堂 978-4-524-22954-3														
参考書	授業内で紹介する。														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	期末試験		80%	○	○	○	○	○					
	レポート		20%	○	○	○	○	○					
注意事項													
備考													
リンク													
	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の 実務経験	末弘 理恵（看護師）、脇 幸子（看護師）大野夏稀（看護師）佐藤昂太郎（看護師）												
実務経験を いかした教 育内容	成人期にある対象への看護について、看護実践の経験と理論に基づいて講義する。												